

# 西部支部だより 第166号

平成28年6月30日発行  
(公財) 鳥取県産業振興機構 西部支部  
[E-mail:kseibu@toriton.or.jp](mailto:kseibu@toriton.or.jp)

## ☆☆首都圏小売業・食品商談会 in 米子・境港を開催いたしました☆☆



6月8日(水)に境港市みさき会館大会議室及びホテルサンルート米子において、農商工連携6次産業化等で作られた食品の販路拡大の支援をするために、首都圏のスーパーマーケット4社を招いて商談会を開催いたしました。

当日は、商談会の前に鳥取県境港水産事務所の所長の案内で境港魚市場で実際に水産物の取引や日本一の水揚げ量を誇る天然クロマグロや紅ズワイガニの水揚げの見学ツアーを体験していただきました。

商談会には境港会場で9社、米子会場で11社のセラーにご参加いただき熱気あふれる商談となりました。

各バイヤーからは、商談日程がタイトスケジュールながら、効率的に商談が持て良かったと満足をしていただきました。

当日、会場で10社の商談が成立し、共同商品開発やバイヤーから継続して情報提供をしていただけるようにもなりました。

「バイヤー企業と共に伸ばしていく」というスタイルが多少なりとも出てきたことは良かったと感じました。

首都圏の中規模スーパー、セレクトショップのバイヤー視点でセ



ラーに助言が得られ、中には「商談に参加して具体的に何をやらないといけないか分かった」と今後の商品力アップにつながるとの意見もいただきセラーにとっても好評でした。今回は懇親会や境港の市場視察などでバイヤーとの親交が図れ、鳥取特産品の優位性や価値に興味を持っていただく機会を持つことができ有意義な商談会でした。

この商談会を開催するに当たり、商工会議所、鳥取県水産事務所、鳥取県西部総合事務所、鳥取県東京本部など、地域ごとの支援機関と連携が強化できたのも今後の商談会を開催する上で意義深いものでした。



## ☆☆☆☆☆☆☆☆「NEW環境展2016」出展報告☆☆☆☆☆☆☆☆



アジア最大級の展示会「NEW環境展2016」が5月24日から27日の4日間 東京ビックサイト国際展示場で開催されました。国内外から507社 1953小間(昨年/508社 1872小間)当財団のブースでは、環境関連企業8社が出展されました。

初日こそ来場者が少なかったものの最終日には対応に追われ、用意したチラシ(1,000部)も3日目には無くなった企業もありました。

展示会は、環境修復・修復、リサイクル、温暖化防止など4日間累計で157,958名(昨年:167,540名)と賑わいました。中には直接商談の成立に繋がるよ

うな問い合わせもあり、今後の販路開拓に弾みがつきました。

当財団の出展ブース以外でも県内企業2社が単独で出展されており、展示会に対する期待も感じられました。

\*当財団出展(西部:大協組、ワイエスエンジニアリング、松原産業、藤森産業機械、高林産業、中部:ウッドプラスチックテクノロジー、鳥取再資源化研究所、東部:アースウェイ)

\*単独出展(細田企画、三光)

